

亭亭

【読み】 か・ぜん

【意味】 立派な料理。また、それを配した膳。

*信長記（1622）一上・義昭公ひそかに南都を落給ふ事「病家の厨に嘉膳（カゼン）なきにはあらず、乃（いまし）其人是を食する事あたはず、かるかゆへに終（つひ）に死す」

*中論・治学「大樂之成、非_レ取_ニ乎_一一音_ニ、嘉膳之和、非_レ取_ニ乎_一一味_ニ、聖人之徳、非_レ取_ニ乎_一一道_ニ」

【参照】『日本国語大辞典』 小学館